

浦戸湾の自然誌

第47号

Wildlife in Urado Estuary

No. 47

クロサギ科 クロサギ

Gerres equulus



2004年8月12日横浜で採集されたクロサギ。

No. 46のヒイラギと同じように、口を前下方に突出させ、底質中の小動物を餌としている2種の魚を紹介します。

クロサギは、かつてアマギという標準和名が併用されていました。「あまぎ」は高知市や須崎市での呼称です。高知市五台山では、「うばごろし」という面白い名前があります。銀白色のきれいな魚で、大きな鱗があります。背鰭の第5棘の付け根から側線までの間に3.5枚の鱗があり、同属の他種と区別できます。湾内でキスを狙っているとよく混じります。成長すると全長30cmほどになります。キスよりはるかに引く力が強いので、釣りの対象として面白い魚です。背鰭や胸鰭、臀鰭の棘は意外に強いので、要注意です。